

第4回 市長と語るまちづくり懇談会 次第

日時：令和3年4月28日（水）14時～

場所：周南市役所 多目的室

テーマ「何歳（いくつ）になっても社会参加できるまちづくり」

参加団体（3団体）

- ・周南トレッキング（健康寿命を延ばすことを目標に山登りなどを行う団体）
- ・まどの会（まど・みちおさんの作品を教育に取り入れてもらうよう活動する団体）
- ・久米自治会連合会（久米地区の課題検討や環境整備等を行い、安心安全で住みやすい街を目標に活動する団体）

1 開 会

14:00

2 懇談会

- ・市長あいさつ
- ・団体紹介・提言等

3 閉 会

15:30

提言内容一覧表

テーマ 「何歳（いくつ）になっても社会参加できるまちづくり」

No	団体名	提 言 内 容
1	周南トレッキング	<p>”アサギマダラ„の里づくり</p> <p>”アサギマダラ„が寄るための花壇（フジバカマ、ヒヨトリ草）を周南市4地域（徳山、新南陽、熊毛、鹿野）につくる。これは、4地域が等しく取り組めることができ、市民の多くの人に関わり、楽しめる活動だと考える。この取り組みには、寿会、コミュニティ、体育振興会、子ども会、ボランティア、学校行事（地区の高齢者との交流授業等）を活用することで、様々な人が、社会参加できると考える。</p> <p>こうした取組みは、観光資源にもなり、交流人口の増加にもつながると思う。</p>
2	まどの会	<p>(1) 高齢者の知識や経験を活かせるような、仕組みづくりをしてみてはどうか。例えば、「市と詩の読み聞かせ隊」を結成し、児童館などを回り、高齢者の知識などを織り交ぜながら読み聞かせを行い、周南市の良さなどを子どもたちに広めていく。市には、オブザーバーとして参加してもらおう。高齢者が、これに参加することで、生きがいを感じてもらえることができると考える。</p> <p>(2) 市民が気軽に利用できる「市民館中ホール」の建設。中心市街地には、気軽に利用できる市民ホールがない。市民が気軽に日頃の活動を発表するための市民ホールが必要と考える。これは、高齢者にとっても、趣味などの発表する場となり、社会との結びつきも得られるようになると考える。</p>
3	久米自治会連合会	<p>人生100年時代といわれている現在</p> <p>歳のいった人、若い人健康維持のために朝、夕に散歩を行っている。スマホ等を持って歩数の確認、歩く時間管理で健康維持を行っている。散歩中の道路状況を良く把握され、危険場所は歩かない様に行動を行い、散歩を楽しんでいると思われる。散歩中の道路状況を良く把握して、道路の凸凹、陥没交通事故が発生する箇所はよけて行動し、また、防犯灯の有る場所を散歩コースにしているので、地区の良い箇所、悪い箇所等を紹介、危険箇所を見たら、写真撮影を行う。写真で、改善、是正を行う社会参加できる風土作りから始める。</p> <p>※散歩の際はスマホ・デジタルカメラを持ち歩き、良いとこ、不具合、危険箇所を撮影する。</p> <p>しゅうなん通報アプリに投稿する。また、久米自治会連合会の事務局等で集計を行う。</p>